

2020.8.6 (木)  
第5回例会  
(通算 3599 回)

## 2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博  
副会長 土橋 賢一  
幹事 荒井 剛  
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2020-2021 年度  
国際ロータリーテーマ



ロータリーは機会を開く  
2020-2021 年度  
RI 会長 ホルガー・クナーク  
第 2500 地区ガバナー  
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ	会員増強・新クラブ結成推進月間
本日のプログラム	会員卓話「鉄道 趣味の世界」(担当：プログラム委員会)
次週例会	講師例会「ゆめいちご 釧路を苺の産地に」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：「奉仕の理想」 ■ソングリーダー：米倉 幸泰君
- 会員数 97 名
- ビジター なし
- ゲスト なし

### 会長の時間

舟木 博会長



皆さん、こんにちは。食事の方はどうぞお続けください。

今日は第1例会。国家を歌う日でございます。例会に欠かせない国旗、ロータリー旗がございますけれど今日は国旗に関わる小話をさせていただきます。

国旗の起源は、諸説ございますが、太陽神である皇祖神の天照大神を説とするもの、また推古天皇の時代の聖徳太子が随の皇帝に送った「国書・日出る処の天子」の日の本（ひのもと）にある説、源平合戦で勝った源氏の旗が白地の赤丸であった、という説がいろいろございます。

近代の日本の国旗は、日米通商条約の後の 1854 年（嘉永 7 年）、日本国共通船舶旗（日本惣船印）に始まり 1863 年（文久 3 年）に国印となっております。これも諸説ありますが、薩摩の島津斉彬公が提唱をして作ったという説が一番有力です。

後に 1870 年（明治 3 年）の 2 月 27 日に制定されたのが縦横の比率が 2 対 3 の旗で、根拠は船舶規定と言われております。その時、日章旗と同時に陸・海軍旗の旭日旗も決まっております。

時代は飛びますが、戦後の占領下の一時期で日章旗の掲揚禁止の期間がございました。1945 年（昭和 20 年）

～ 1949 年（昭和 24 年）1 月 1 日までの間、日本の公の場から日の丸が消えました。戦時中の米軍は日章旗や国章マーク、「零戦」や「隼」に付いている日の丸のマークですが、それを「ミートボール」と呼んでバカにしていたそうです。もちろん、戦後は日本の軍旗に関しては全部破棄されたみたいです。

なお、沖縄では 1945 年（昭和 20 年）～ 1972 年（昭和 47 年）5 月 15 日までの期間中、本土復帰の沖縄返還運動のシンボルとして日の丸が使われていました。当時、日の丸は使用禁止ということで、各官庁には星条旗と琉球政庁の旗が使われていました。

1964 年（昭和 39 年）の東京オリンピックの開催時ですけれど、実は日の丸の旗の規格がよくできていなかったことが判明しました。日の丸の赤色の定義がなかったことで、国旗マニアの大学生・吹浦忠正さんが一般家庭 500 軒を回って、紅色の平均値を出して、資生堂で口紅だと思えますけれど多数の色サンプルを吟味して、その中から紅色を自分で選んで作ったそうです。その時の関係官庁に問い合わせ、相談をしましたが、どこの官庁も「決められない」という返事だったみたいです。それで彼は自分で全部決めたという話です。

話は変わりますが、日本の国旗と似たものがバングラデッシュとパラオの国旗です。パラオは戦前、日本の信託統治領で大統領も日系人が務めております。詳しいことは当クラブの栗林延次君がパラオ共和国の名誉大使を務めておりますので聞いていただければ幸いです。

す。またバングラデッシュの初代大統領は大変な親日的でして、独立運動や独立後の援助では、日本が最大の援助国だったと思います。そのようなこともあって、国旗が日の丸に非常に似ているので調べてみたら、先ほどの日本の国旗を作った、当時は学生ですけど吹浦忠正さんは戦時中、国際赤十字のバングラデッシュで活躍をしておりました。その縁もあり大統領とは親交がございました。そういうわけでバングラデッシュの国旗を作る時にも関与していたと聞いております。

変わった話では、2014年にカンボジアで発行された500リエルのお札には日本の援助で建てられた橋とともに日章旗が印刷されているそうです。カンボジアに行った時に見ていなかったのが残念だったと思っております。

テレビなどで天皇誕生日などの一般参賀でよく旗を振っているところを見られると思いますが、あの旗はほとんど自分で持参をする方がいなくて、実は民間の社団法人国旗協会の皇居参賀協力委員会で提供をしていますので、手旗がなくても皆さん安心をして参加できます。また、国旗掲揚は祭日に。振替祭日・国民の休日にはしないということが普通です。

また、国旗に関する法律では、各国では国旗の尊厳を守るために国章毀損罪があるそうです。隣の中国、韓国はもちろんのこと、同じ敗戦国のドイツ、イタリアにも同じものがあり、掲揚されている公の場での国旗の裁断や焼却など、国旗・国章を冒瀆する行為の刑罰を規定しております。

日本国では、自国においてはその法律はございません。但し、外国の施設・大使館・公使館などの国章を保護することで、外国のためには「外国国章毀損罪」を制定しているそうです。

1999年（平成11年）に公式に国旗・国家に関する法律ができるまで、特に教育現場では日教組等の反対運動で随分混乱をしておりました。

長くなりますので、やめます。ありがとうございました。

■本日のプログラム■  
会員卓話「鉄道 趣味の世界」

小野寺 俊君



皆さん、こんにちは。幹事には「今回のお話は25～26分あります」というお話して作っていますので、すみません。時間オーバーすることをご承知おきをお願いします。決して僕のせいではありません。

今日は会員卓話ということで登壇させていただきました。元々は、前年度の天方会長から2月か3月ぐらいにオファーがありまして準備をしていましたけれども、例会の中止が重なり、お蔵入りをしていましたけれども中島委員長からお話がありまして本日、半年ぶりに日の目を見ることになりました。皆さんもよくご存じの僕の趣味のひとつである『鉄道オタク』の話をさせていただきたいと思っておりますので、本日はよろしくお願いたします。

テレビ『マツコの知らない世界』をパクって『ロータリ안의知らない鉄っちゃんの世界 30分でわかる鉄オタの生態』と題してこれから鉄道オタクの生態、また私の鉄活動についてご披露したいと思います。ひと口に『鉄道ファン』といいましても細分化されておりまして、その中から代表的なものを紹介していきたいと思っております。

最初に皆さんが思い浮かべる鉄道に乗って楽しむ『乗り鉄』です。基本的に乗ること自体が目的で、景色を眺めながら列車に揺られることが基本スタイルですけれども、同じ括りの中に時刻表をめぐる方や、自分で描いた鉄道路線を妄想して悦にはいる『妄想鉄』、車内で駅弁やお酒を楽しみながら乗る『食べ鉄』『呑み鉄』なども『乗り鉄』の仲間となっています。

次に、鉄道車両そのものが好きで、それらの考察・研究をしている人が『車両鉄』と呼ばれる人たちです。ディーゼルカー専門、また電車専門、とこちらも細分化されておりまして。例えば、電車が好き過ぎる人はディーゼルのことは全く分からない、どんな車両があるのかすら知らない方も案外いるということです。

次に、乗り鉄と共に一般的に知られているのが、鉄道写真を撮る『撮り鉄』さんです。画面にも出ており、後ほどお話をしますけれども、見ようによっては『鉄道趣味界の武闘派』でして、撮り鉄は大きく車両主体で撮る形式写真・編成写真というスタイルを撮る方と、鉄道風景を撮影する派に分かれております。両方という方ももちろんたくさんいます。

次に『模型鉄』です。一般的に浸透している鉄道趣味のジャンルですけれども、鉄道模型には主流は1/150スケールのNゲージ、1/80スケールのHOゲージと呼ばれているのが大部分で、製品もほぼこの2つのスケールで発売されておりまして。こちらは車両を集めるコレクション派、またレイアウトと呼ばれるジオラマを自作して走らせたり飾ったりすることが多いです。

次に、『廃線鉄』さん。かつて走っていた鉄道路線跡を探訪したり、研究をしたりする人たちです。実際に現地に行っても、もう既に路肩ぐらいにしか残っていないわけで、個人的には何がそこまで熱くさせるのか、僕にも理解はできておりません。

次は、『収集鉄』と呼ばれ、鉄道用品や鉄道会社のグッズ

ズ等を集めたりする方々。特に“サボ”といわれる「行き先表示板」や「廃品の座席」などは大変高価で取引されているようです。

最後にご紹介するのは『音鉄』です。人数が増えてきたのはここ10数年で、スマホや小さなレコーダーで録音ができるようになったことが広まった理由だと思います。駅のホームや線路脇から音を収録したり、車内の走行音やアナウンスを収録したりします。この音鉄と先ほどの撮り鉄を融合したものがビデオ撮影をする『録り鉄』です。この場合の“とり”は録画の「録」の字を使って表現します。

数あるジャンルの中で私が楽しんでいるものは、乗り鉄・撮り鉄・音鉄・模型鉄・収集鉄と総合的に網羅しております。つまり『ゼネ鉄』、ゼネラル鉄と自称しております。



最初は、鉄道趣味の王道の『乗り鉄』をご紹介します。皆さんがイメージをする鉄道マニアといえ

ば、やはり鉄道に乗って旅行をするのが多いと思いますけれども、この乗り鉄ジャンルがメジャーな楽しみ方だと思っています。僕もどこかに乗りに行くというのが一番大きなウエイトを占めています。

ところで、鉄道趣味への熱量を『鉄分』と表現することはご存じでしょうか。旅好きが高じて鉄道に興味を持ち始めたというライトな方は『鉄分少なめ』、マニアの域まで達すると『鉄分多め』と言ったりします。長時間旅に出ないと「そろそろ鉄分補給をしないとダメだ」というような具合です。

乗り鉄の夢は、やはりすべての鉄道路線を制覇することに尽きます。旧国鉄を含むJR線を完乗された方は、案外釧路でも結構います。ただ、私鉄を含むすべての鉄道路線となるとなかなかおられないようです。既にお亡くなりになられていますが、紀行作家の宮脇俊三さんが書いた『時刻表2万キロ』という本がありますけれども、宮脇氏が国鉄全線を乗り潰すまでの経過を書いた大変面白い作品ですので機会があったら皆さんもご一読ください。このように観光列車の客室乗務員さんと2ショットを撮れたりすることも個人的に『鉄』の楽しみのひとつです。

今まで、私が乗った鉄道路線を地図に落としてみました。赤い線で書かれている所が乗った線区です。青色はJRのまだ乗っていない区間。緑色は私鉄・その他の乗っていない区間となっています。山陰地方・東北地方に薄い部分がありますけれども、コロナ感染が収束したらまず山陰地方に行ってみたくと思っています。JR線の約19,600kmあるうち15,400kmほどを乗

車しており、達成率にしますと79%です。JR北海道は当然、全線乗車済みです。東日本81%・東海86%・西日本53%・四国69%、九州については昨年11月に10年がかりで全線乗車を終えております。

次に、私鉄の鉄道路線、約7,800kmのうち2,600km程度しか乗車しておりません。率にして33%位ですけども、地方の民鉄などは全国に点在して乗る機会も非常に少ないので、いまはJRを優先していて、そのついでに乗る感じで、何とか死ぬまでにはJR線完乗を目指したいと思っています。というわけで「完乗に向けてタカシの旅はまだまだ続く!!」とポケモン風にまとめてみました。

続いて、鉄道趣味の2大巨頭であります『撮り鉄』です。基本的に撮り鉄さんは、線路脇などで撮影をする本格的な撮影を指します。旅の途中でのスナップなどはこの中には含まれておりません。簡単にいえば『わざわざ、鉄道を撮影に出かける人たち』でしょうか。鉄道ファンの大部分は『おとなしい方』が多いのですが、そんな普段はおとなしい方々も撮影時には人格が変わる方が非常に多くて、都会の最終の『お別れ列車』や『お召し列車』など珍しい列車が走る時は、罵声が撮影地で飛び交うことが日常茶飯事で、人はこれを『撮り鉄原理主義』といいまして、鉄道会社のみならず他の鉄道趣味ジャンルの人たちからも白い目で見られています。ちなみに釧路で毎年冬に走っている『SL冬の湿原号』の撮影場所は首都圏から離れていますし、撮りに来る方の年齢層が割と高いので、このような殺伐とした雰囲気になることはありませんのでご安心ください。

鉄道写真の大部分は、車両や編成をメインに撮影をする形式写真と風景を絡めて撮る風景写真派に大きく分かれておりまして、僕はどちらかという風景派、見た人が旅情をかき立てられるような写真を撮りたいと思って撮影しております。ちなみに、真ん中の『スーパーおおぞら』の写真は星が浦の線路脇で撮ったものです。

ここから、私の撮影した写真を紹介させていただきます。まずは、オホーツク海脇を走る釧網本線です。左側に見える雪原は流水で埋められたオホーツク海です。知床斜里と止別(やむべつ)の間にある直線は、この写真はちょっとかすんでいますけれども晴れているとバックに海別岳(うなべつだけ)が見えて雄大な景色が広がるので、プロの鉄道写真家も多く訪れる場所としても有名です。

こちらは、花咲線の厚岸の手前にある昆布干し場から撮影をしたものです。当然ながら漁師さんに一声かけ





て、中から撮影をさせていただきました。多分、ここで撮影をする人は皆無ではないかと思えます。

こちらは根室本線、尺別湿原付近の写真で極寒の早朝、太平洋に浮かぶ気荒らしと朝日を背に走り去る列車を撮影しました。釧路は夕日が有名ですが、個人的には朝焼けの方が素晴らしいと思っています。なにせ夜明けに合わせて起きなければならないので、とても貴重な風景だと思っています。

こちらも2月の日の出の時に撮影をした釧網本線と釧路川の写真です。マイナス20度位の中、朝日・樹氷・気荒らし、そして一番列車の白い排ガス、屋根の所に見えますけれどもそれが1つになった写真です。この場所は釣りをする方はよくご存じの砂利道と川が一番接近する所、そこから撮影をしています。鉄道写真を撮る人とは会ったこともないので、自分だけの秘密の撮影スポットにしている所です。



この他にもSLや廃止されました石炭列車、また特急列車なども撮影をしています。左上、今年3月のダイヤ改正で『おおぞら』に投入された『キハ261系』は6往復のうち3往復がこの形式に変わっております。

この『SL冬の湿原号』は、今年唯一撮影をしたSL写真です。通常、写真は横位置で撮ることがスタンダードなのですが、SLの場合は縦位置で煙を大きく上げている所を写すと迫力が出来ます。ただ、風が吹くと思った写真が撮れないので非常に難しいところです。以前、釧路クラブにも在籍しておりました元NHK釧路放送局長の井上利秋さんも実は撮り鉄だったので、実は元々テレビカメラマンで、「縦位置での撮影が苦手。テレビカメラは縦にしません。横で撮るのが染みついてしまってカメラを縦に動かす意識がなくて、苦手です」というお話を以前しておりました。

こちらは、宗谷本線を走るラッセル除雪車です。稚内なのでここから7～8時間です。なので、一度しか撮影に行ったことはありませんけれども、この迫力は何ともいえなかったと思います。最後の写真ですが、皆さんご存じかどうか分かりませんが、東京の上野駅、中央改札口ホームにある石川啄木の碑です。「ふるさとの訛(なまり)なつかし停車場の人ごみの中に そを聞きにゆく」という句です。新幹線が開通するまでの昭和の時代は、ここから数多くの長距離列車が東北方面に向けて発車して行きました。啄木は故郷が恋しくなると上野駅に向いて、飛び交うその東北弁を聞いて岩手を懐かしんだそうです。今は写真のように通勤電車が行き来するだ

けですけれども、この啄木の碑が往時の賑わいを思い起こさせるのかと思います。

長年、鉄道写真を撮っていますと縁も生まれまして、平成28年の『SL冬の湿原号』のポスターに写真を使っていたいただきました。この時は手持ちのいい写真が少なく苦し紛れに出したのですけれども、それでも出張で札幌駅に行った時にこのポスターが柱に張られているのを見た時は感激したのを覚えています。プロではないので自分の作品がこんなに大きなポスターになるなんてことは滅多にないことだと思うので大変名誉に思っております。

そんなこともあって、翌年はポスターにふさわしい写真を撮りたいと思い、撮影に取り掛かりました。場所は釧路湿原駅付近と決めて、手前の線路の土手を車体にかぶせる、下からあおる感じの構図にしたのですが、坂道を駆け上がって来る雰囲気を出そうとして撮影したものです。無風状態でないとこのようにきれいに煙が上がらないので、この写真を撮るまで同じ場所、同じアングルで5～6回撮影しに行きました。こちらは平成30年度のポスターに使っていただけなのですが、個人的には会心の1枚に近い作品だと自負しております。

皆さんも手持ちのスマートフォンでもいい写真が撮れますので、旅先などで鉄道写真にチャレンジしてみたいかでしょうか？写真アプリを使うとこのようにインスタ映えする写真になること請け合いです。

一番上の幾何学模様の、あれほどこだわりますか。(そうです)東京駅の丸の内口の改札口の天井。こういうのも僕の中では鉄道写真のひとつと思っています。

鉄道の趣味で一番お金がかかると言われているのが『模型鉄』です。実物の鉄道車両を手に入れることは困難なので、ミニチュアでその願いをかなえるのが『鉄道模型』です。有名人では加山雄三さんがかなりの鉄道模型マニアだそうです。日本での主流は1/150スケール、線路幅が約9mmのNゲージというサイズです。これが実物の1/150スケールの『キハ40系1700番台』。釧路で、いま普通列車で走っているディーゼルカーです。こんな小さな模型ですが意外と値段が高くて、1両が2,000円位、モーターが付いたり機関車だったりすると7,000円位します。ちなみに『特急おおぞら』などの複数車両が編成になったセットは2万円位します。私の釧路の鉄道仲間の一人はこのようなモノを数千両持っていて、その保管のためだけにアパートの1室を借りていて、今までどのくらいお金を使ったかを聞いて



てみると「ちょっとした1軒家は買えるかな」と言っています。この人イカレてるのではとったりしました。

車両のコレクションをするのはもちろんですが、鉄道模型では『レイアウト』と呼ばれるジオラマを自作し、走らせたり飾ったりして楽しめます。車両にエアブラシなどでウェザリングという汚し加工をすると、よりリアルになります。下の左の写真が買った状態の素の



写真。右側がウェザリング塗装を施した状態で、排ガスとか車体下部の線路の鉄粉を巻き上げた所に塗料を調色しながら吹き付けて行きます。

このように小さいものに塗装をするので、さすがの私もハズキルーペのような物がないと作業が出来ません。

私が以前製作した小さなジオラマをご紹介します。まず、車両を分解します。シートにモケットを貼り、1/150サイズの乗客を乗せる。そしてウェザリングを施して（JR貨物さんの名誉のため言いますが、ここまで汚れた機関車は存在しません）、これは僕が初めてウエザリングしたもので勝手がわからなくて、出来上がったら国鉄末期の機関車みたいに汚し過ぎてしまいました。

2年前に製作した小さなジオラマ、鉄橋以外は全てスチレンボードで自作しております。仕事が建設業ですから、特に橋台のディテールや法面の角度などには結構こだわって作っています。それを100均で買ったアクセサリーケースの中に入れて、LEDも付けて仕上げ、約3カ月、費用は1万円位かかりました。撮り鉄でもある僕だけに完成写真にもこだわりたいので、ジオラマを庭先に持ち出して撮影したのがこちらです。どうですか、なかなかリアルに仕上がっていませんか？このジオラマは、放課後にお花見デートをする高校生のカップルという思いっきり昭和の雰囲気です。ちなみにこの桜の花は『激落ちくん』をすり潰して薄いピンク色に着色して貼り付けて表現しています。

最後のお話は、聞けば旅情が沸き起こる『音鉄』の世界です。電子機器の発展で、近年勢力を伸ばしているのが音鉄のジャンルです。主に駅のホームや線路脇で客観的に音を録音したり、列車に乗っている時に走行音や車内アナウンスを録音して楽しめます。パソコンのソフトで音を編集して出来上がったファイルを再生しながら車を運転するとバーチャル鉄道旅みたいな感じで、面白いのです。そんなにやっていませんけど。録音に使用するのはミュージシャンが使うようなレコーダーですが、1万円位で購入できるので鉄道趣味

の中ではそんなにお金がかからない部類です。

皆さん、耳にしたことがあると思いますけど、京浜急行の『歌う電車』と呼ばれたもので、交換されて現在は走ってはいないのですが、かつてはドイツのシーメンス社のモーターを制御する機械の変調音が「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」と歌っているように聞こえることから鉄道趣味以外の方からも有名な電車でした。羽田空港を発車するシーンをお聞きいただけます。（録音を再生）羽田に出張で行ったときなど、聞いたことがありますよね。今はこの機器を積んでいる車両はないので音を聞くことはできません。次は日本最南端にあるモノレールの「ゆいレール」の車内音楽とアナウンスです。アナウンスの前に沖縄民謡のメロディーが流れるのです。（録音を再生）これはすべての駅でメロディーが変わるので、気になる方は沖縄に行ったときはぜひ全線に乗っていただきたいです。（録音を再生）写真の後ろは消失してしまった首里城です。こんな感じです。

次は、漫画家の藤子不二雄Aさんの出身地である高岡市、富山湾沿線を走る氷見（ひみ）線ですが、先生の作品の『忍者ハットリくん』が車内アナウンスに登場します。（車内アナウンスを再生）こんな感じで、氷見線は観光路線ではないのですが、このような取り組みは釧路でも活用できる手法かなと思っております。花咲線なども『ルパン三世』のラッピング列車が走っていますけども、車内アナウンスがルパンや銭形警部の声だったら観光客も増えるのではないかと思ったりします。ぜひ、山田支社長には実現してほしいと思います。

最後に聞いていただくのは往年の夜行寝台特急、ブルートレイン『はやぶさ』が熊本を発車したところのアナウンスです。現在、はやぶさといえば北海道新幹線の名前になっていますけども、この名称が発表された時には「はやぶさは九州の名前だろう」と突っ込みを入れた鉄道ファンは数万人いただろうと思います。冒頭に流れてくるメロディーは国鉄時代に客車に搭載されていた『ハイケンスのセレナーデ』という曲。僕よりも上の世代の方はこのメロディーを耳にしたことがあるのでしょうか。飛行機で熊本から羽田まで飛ぶと2万円でおつりが来ますが、こちらは乗車券・寝台特急券を合わせると3万円を超えました。乗車したのはA寝台個室、左の写真で、昭和30年代の設計です。見るからに独房みたいな感じで、寝台料金は13,000円で、シティホテル並みのお値段です。それでも、これに乗りたくて九州に行きました。（車内アナウンス再生）熊本から東京なので停車駅のアナウンスが異様に長かったのです。

（JR車内アナウンス調）本日は釧路ロータリークラブ例会にご出席いただきましてありがとうございます。奥深い鉄道趣味の世界はいかがだったでしょうか。

皆さまもぜひJ R北海道にご乗車いただきまして鉄道の旅を満喫していただけると幸いです。間もなく列車は到着でございます。どうか忘れ物ないようご退席くださいますようお願い申し上げます。ご清

聴ありがとうございました。

かなり時間をオーバーしてしまいました。どうもありがとうございました。

### 本日のニコニコ献金

- 吉田 潤司君 ジャンケン大会、勝ちました。
- 濱谷美津男君 //
- 土橋 賢一君 昨日、二人目の孫が生まれました。
- 廣部 雅資君 普通に歩けるようになりました。

今年度累計 104,000 円